

年金制度改革法案について

2026年4月以降の年金制度に関する改正法案が6月13日に国会で成立しました。概要は以下の通りです。

【社会保険加入対象の拡大】

① 短時間労働者の加入要件の見直し

賃金要件（106万円の壁等）の撤廃（3年以内）

企業規模要件の撤廃（2027年10月から段階的）

② 個人事業所の適用対象の拡大

常時5人以上の者を使用する個人事業所（2029年10月から）



【在職老齢年金制度の見直し】

年金を受給しながら働く高齢者の賃金と老齢厚生年金の合計が基準を超えた場合、老齢厚生年金が減額される基準を月50万円から62万円に引き上げられます（2026年4月から）

【遺族年金の見直し】

① 遺族年金の男女差を解消（2028年4月から段階的）

② 父または母と生計を同じくしていても、こどもが

遺族年金を受け取れるようになります（2028年4月から）

【厚生年金保険等の標準報酬月額の上限の引上げ】

厚生年金等の保険料や年金額の計算に使う賃金の上限を月65万円から75万円に引き上げられます（2027年9月から段階的）

【将来の基礎年金の給付水準の底上げ】

【私的年金の見直し】

「iDeCo」の加入可能年齢の上限引き上げ（3年以内に実施）



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000147284_00017.html

年金制度は私たちの生活に直結している重要な制度ですので今後も注目していきたいと思います。

詳細は、厚生労働省ホームページをご参照ください。（井上）

トップページへ

逆走事故、なぜ起きる？

今でも記憶に新しい、高速道路の逆走車が招いた悲惨な事故。



なぜ最近逆走車が増えているのでしょうか。



【高速道路における逆走の発生状況 | NEXCO 東日本】

<https://www.e-nexco.co.jp/activity/reverse/status.html>

上記の NEXCO 東日本の「高速道路における逆走の発生状況」を見ると、2023 年

に発生した逆走事案件数 223 件のうち、約 7 割（151 件）が 65 歳以上です。

約 4 割は高速道路のインターを出たつもりで再び本線に戻ってしまったケース、

一般道路から高速道路に入る時に間違えて出口から入ってしまったケースなど、

運転者が逆走したことに気付かない 【過失】 により逆走してしまうケースです。

恐ろしいことに、約 3 割は 【認知症】 などで逆走していることが認識できない方や、

そもそも逆走している意識がない運転者さんがいるということです。

国土交通省や高速道路会社の総力を挙げて、一刻も早く IC・JCT の構造上の

問題や誤解を招く標識の改善など、逆走防止対策を推進していただくことを

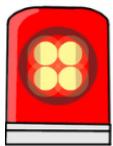
お願いします。

悪質なのは約 2 割を占める 【故意】 に逆走するケースです。降りるインターを行

き過ぎた、出口を間違えた、という理由で逆走する身勝手な運転者は厳罰に処し

てもらいたいものです。





【高速道路で出口を通り過ぎてしまったら

行き先を間違えてしまったら| NEXCO 東日本】

<https://www.e-nexco.co.jp/activity/reverse/mistake.html>

恐ろしい逆走車から我が身を守るために私が最近意識していることは、

！前方視界を確保するため車間距離をとる、大型車には接近しない

！とっさの時にハンドルを切り、逃げるスペースを確保できるよう

並走は避ける

！基本的に左車線を進行、視界の悪い右カーブでは追い越しをしない



など、ニュースでも言われているようなごく一般的なことです。

また、万一の時に一番効果的なのは、やはり「ドライブレコーダー」で記録しておくことです。相対速度 200 km ですれ違う逆走相手車両の登録番号を記憶することは不可能です。もしかすると、逆走車を避けた際に事故に巻き込まれているかも知れません。

できれば、前方だけでなく後方にもカメラをつけておくとより効果的だと思います。（向山）

トップページへ